

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

わたしたちの食卓によくのぼるごはんは、お米からできています。けれども、そのお米がどうやってできるのかを知っている人は、意外と少ないかもしれません。

春、田んぼには水がはられます。農家の人は苗（なえ）を育て、ある程度の大きさになると田んぼに植えかえます。この作業を「田植え」といいます。田植えが終わると、農家の人は毎日のように田んぼの様子を見守ります。雑草が生えないように取りのぞいたり、水の量を調節したりします。

夏、苗はぐんぐん育ちます。太陽の光と水、そして土の栄養をたっぷり受けながら、苗は青々とした稲に変わっていきます。この時期は病気や害虫（がいちゅう）にも気をつけなくてはなりません。農家の人は、葉の色や形を見ながら健康な成長を守ります。

秋になると、稲の先に黄金色の穂（ほ）が実ります。これがお米のもとです。穂が十分に実ると、いよいよ「稲刈り」です。稲刈りの後、稲は干され、脱穀（だっこく）という作業で米粒だけがとり出されます。この時点では「もみ」の状態で、外側にかたいもみ殻（がら）がついています。

最後に、もみ殻を取りのぞく「精米（せいまい）」を行い、白いお米になります。こうしてようやく、わたしたちが炊いて食べることのできるお米ができ上がるのです。農家の人たちは、長い時間と手間をかけてお米を育てています。毎日食べているごはんも、こうした努力があってこそ口にできるのです。お米一粒にも、たくさん人の思いと自然の力がつまっていることを、忘れないようにしたいですね。



(1) 次の文章の（ ）に入る言葉を本文を読んで正しく書きましょう。

春に田んぼに苗を植えることを（①）といいますが、秋には稲が（②）色になり、穂が実ります。

- ① （ ）
② （ ）

(2) お米ができるまでの流れを、正しい順番に並べましょう。

- ① 稲刈り ② 田植え
③ 精米 ④ 苗を育てる



(3) 次の文が本文の内容と合っているかどうか、（ ）内に「○」か「×」で答えましょう。

- （ ） 稲は冬に穂が実る。
（ ） 稲刈りの後、すぐに精米される。
（ ） 夏は病気や害虫に注意する。
（ ） 精米すると白いお米になる。

(4) 次の文章の（ ）に入る言葉を本文を読んで正しく書きましょう。

- お米一粒にも、たくさん人の思いと（ ）の力がつまっている。

